

野外で楽しめるスマートフォン向けのゲームがはやっています。公式サイトでは、外に出てポケモンを捕まえよう！ポケモン図鑑を完成させよう！楽しそうですがもっと大切なことがあるよと伝えたい。野山や川に出かけて本物の素敵な生きものたちに会おう！と。

今年二十八日目を迎えたうら山観察会は、「都留の自然と子どもたちの橋渡し」を目的にネズミやリス、ムササビなど身近な生き物の観察や、季節ごとのうら山の散策（うら山探検）を行ってきました。七月に行った川の観察会では、戸沢川のきれいな流れの中で、流れの速い場所、落ち葉がたまっている場所、少し深い場所などにどんな生きものがあるのか調べてきました。網やプラスチックの水槽を手

に、スタッフとペアになった子どもたちは思い思いの場所で生きものを探します。そして、捕まえた水生昆虫やサワガニを得意そうに持ってきます。最初はなかなか見つけれなくてもだんだんコツが分かってくる。これが体験のよい所。やってみて分かること、学ぶことは、言葉だけではなかなか言い尽くせません。次に、捕まえた虫たちを観察します。背中にもじやもじやの毛をゆらし息をしているのはフタスジモンカゲロウの幼虫。流れが速い場所です。石にはりついているヒラタカゲロウの顔は、双眼実体顕微鏡で見ると宇

宙人みたいです。水中にいる芋虫のお化けみたいなのはガガンボ（大きな蚊のなかま。血は吸いません）の幼虫。いろんな姿をした虫たちがどろんどろん集まっています。岩についた藻をけずりつつ食べるもの、沈んでいる落ち葉を食べるもの、水中に網をはって、流れてきてひっかかった落ち葉を食べるもの、他の虫たちを食べるものなど、食べものをみても虫たちは様々です。すむ場所や食べるものにあわせた体の仕組み、どの姿にもそれぞれ意味があります。ポケモンに負けないおもしろい生きものたちが、都留の沢の豊かな自然を支えています。

私が勤務している学校では毎年五年生が学校の前の川で県の林務環境課の方の指導で水生生物調査をします。川のそばに住んでいる子どもたちですが、初めての体験です。アンケートには全員が楽しかったと答えました。「水が冷たくて気持ちよかったです。」「いろんな種類の虫がいることが分かった。」などがその理由です。

大人だけでなく、子どもたちも多忙な日々を過ごしていて、なかなかこういう体験はできていません。ですが、地域の将来をつくっていく子どもたちには、ぜひ、実体験を通して地域の自然環境を知ってほしいと思います。うら山観察会は、今後も子どもたちと自然の橋渡しをどのようにしていくべきか考えながら活動していきたいと思えます。

連載・青少年健全育成シリーズ 第302回

「自然体験を通して身近な環境に目を向けよう」

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,300部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄